

VLF311 壁掛け金具 取扱説明書

----- 重量 56.5kg 以下の薄型テレビの、壁面取り付けに適用 -----

この度は、VLF311 の壁掛け金具をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
VLF311 は、37V 型～ 84V 型の薄型テレビを、壁面から 258mm 引き出したり、視野角を +0 度- 10 度に、又左右に ± 30 度の首振り調整が可能です。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保存してください。

お客様へ

本製品の取り付けには、確実な作業が必要となります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に十分考慮して確実な取り付けを行って下さい。


販売店様・工事業者様へ

フラットテレビの取り付けには特別の技術が必要ですので、設置の際は取扱説明書をよくご覧の上、設置を行って下さい。
取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では責任を負いません。


1. 安全上のご注意


お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。
表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。


 **警告** 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。

 **注意** 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。(してはいけない禁止内容)

 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(実行すべき強制内容)

 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(気をつける内容)

警告



工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。
専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。



取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。
強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。



荷重に耐えられない場所には取り付けしないで下さい。
強度の弱い壁や平面でなかったり垂直でない壁に取り付けると落下してけがの原因になります。
壁の強度は少なくともフラットテレビの重量の 5 倍の強度に耐える場所が必要です。

警告



禁止

VLF311 壁掛け金具は、37V 型～84V 型で、総重量 56.5kg 以下のプラズマ及び液晶等の薄型テレビを、木柱やコンクリートの壁面に固定するためのものです。指定した以外の目的で使用しないで下さい。
56.5kg 以上の薄型テレビの取り付けには絶対使用しないで下さい。
又、木柱やコンクリート壁以外の鉄骨壁面には取り付け出来ません。
この指定を守らないと、薄型テレビが落下して、けがをしたり、テレビが破損する原因となります。



警告

この製品は、磁石を含んでいます。もしペースメーカーのような挿入された医療装置、又は埋め込み型心臓除細動器 (ICD) をご使用中なら、磁気がこれらの装置の動作に影響を及ぼし、重傷または死に至る恐れがあります。もし挿入された医療装置をお持ちの場合、お使いの装置と磁石の間で少なくとも 13cm 距離を保ってください。この製品を使用する前に、かかりつけ医師、又は専門医師と相談してください。



湿気やほこりの多いところや油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けしないで下さい。
又、エアコンの上や下にテレビを取り付けしないで下さい。
テレビに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。



禁止

組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めして下さい。
ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。
指定を守らないとテレビの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。



テレビの取り付けや取り外し作業は 2 人以上で行って下さい。
テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となることがあります。



禁止

本製品には小さな部品が同梱しており、誤って飲み込むと窒息の危険性がありますので、子供のそばにこのような部品を置かないで下さい。
又、壁掛け金具の組み立ての際は、危険ですから子供を側に近づけないで下さい。



取り付け作業の際は、テレビや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
感電の原因になったり、テレビや周辺機器を破損する恐れがあります。



組み立てる前に、すべての部品が揃っており、破損してないことを確認してください。
足りない部品又は破損している部品のある場合は、ネットワークジャパン株式会社に連絡して下さい。
破損した部品は、絶対にご使用しないで下さい。



壁掛け金具を壁面に固定するネジは下記の部品表に記載してありますが、壁面の材質や強度によっては不適合な場合がありますので、その場合は市販の適切なネジを使って下さい。



ここに記載される内容が解らない場合、または製品の取り付け、組み立て、使用について質問がある場合は、ネットワークジャパン株式会社に、又は認定業者にお問い合わせください。



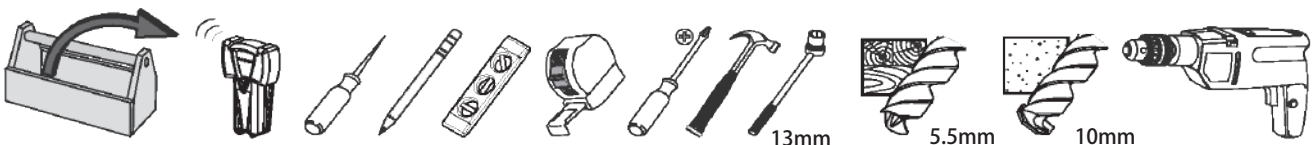
ネットワークジャパン株式会社は、不適切な組み立てや、使用により発生したけが等の傷害や、物品の損傷に対して責任を負いません。

参考事項

仕様

耐荷重	: 56.5kg (テレビと付属品を含みます)	超過しないようにして下さい。
適応テレビサイズ	: 37V 型～84V 型	
ティルト調整	: +0° -10°	
水平度調整	: ± 1.5°	
左右首振り角度	: ± 30°	

必要な工具類



2. 部品一覧表

⚠ 警告

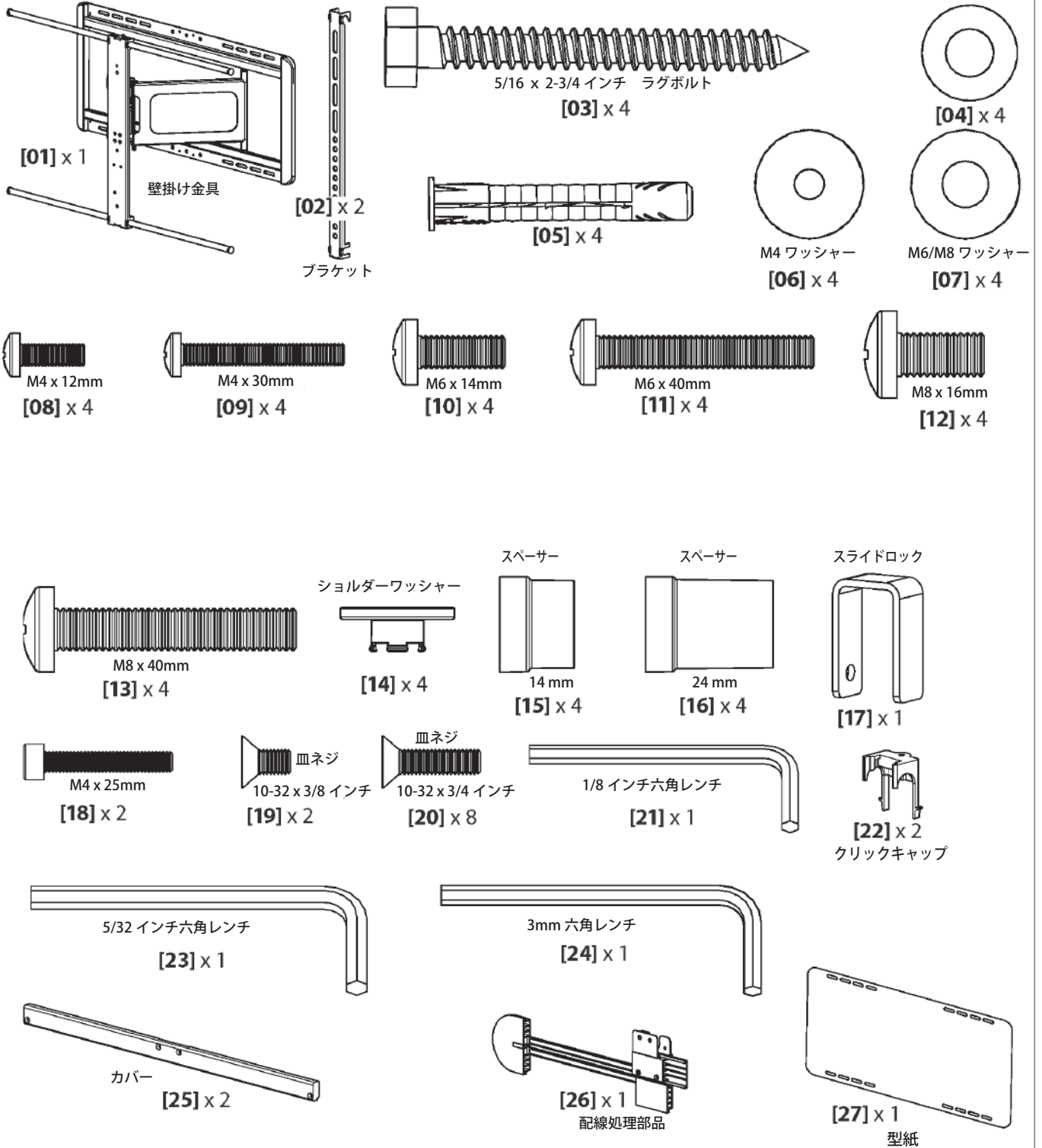
本製品には小さい部品が付属しており、誤って飲み込むと窒息の危険性があります。

組み立てを始める前に、部品がすべて揃っており、破損していないことを確認してください。足りない部品または破損している部品がある場合は、ネットワークジャパン（株）までご連絡ください。破損した部品は絶対にご使用にならないでください。

注記：M4、M6、又はM8は直径を指し、mmは「M# X ##mm」の表記において、ネジの長さを指します。付属の金具をすべて使用するわけではありません。

A 図

ラグボルト用ワッシャー



3 組み立て方法

1 テレビ背面にブラケットを取り付ける

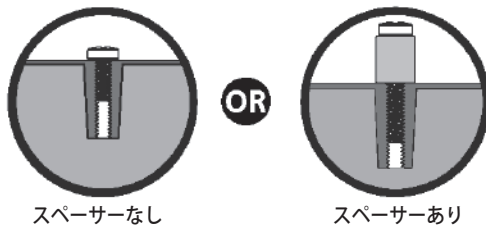
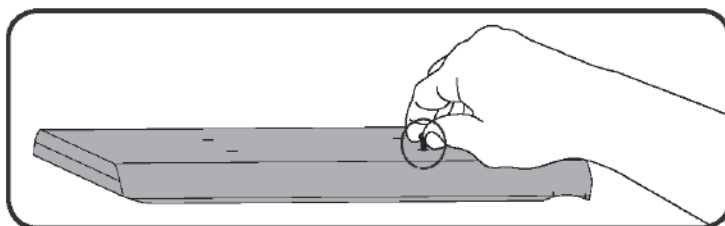
1-1 テレビ背面の取り付けネジの口径と長さの選択

組み立てを始める前に、テレビの背面のネジ穴にネジを手でねじ込んで、正しいネジの直径（M4、M6、又はM8）と首下の長さを選択します。先ずネジ単体でねじ込み、もしスペースが必要な場合は、スペーサーを併用します。

注意：ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。

ねじ込んでいる時に抵抗があった場合、直ちに中止し、必要に応じて、一段階首下の短いネジとスペーサーを組み合わせて使用します。使用するネジが長すぎる場合、テレビの内部を破損する恐れがあります。

適切なネジの見つからない場合は、ネットワークジャパン（株）にお問い合わせ下さい。



B 図

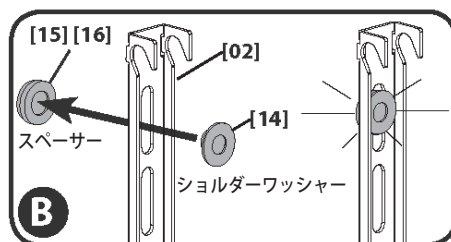
1-2 テレビ背面にブラケットを取り付ける

前項1-1で選択したネジやスペーサーを使ってテレビにブラケットを取り付けます。

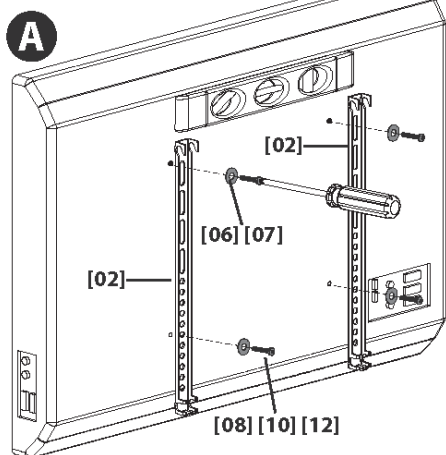
- A. 背面が平坦で障害物のないテレビは、下図オプションAに従って取り付けます。
- B. 背面が平坦でない場合や、取付穴が凹んでいたり、ケーブル、窪み、または突起に対して余分なスペースが必要な場合は、下図オプションBに従って取り付けます。

テレビ背面の左右の二つのブラケットが、水平に取り付いている事を確認します。

ブラケットの適切な開口部にショルダーワッシャー [14] とスペーサー [15][16] を取り付けます。



背面が平坦なテレビ

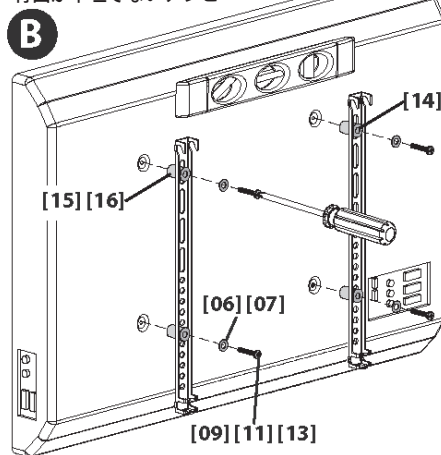


C 図

OR

最適な口径と長さのネジとワッシャーと（スペーサー）でテレビにブラケットを取り付けます

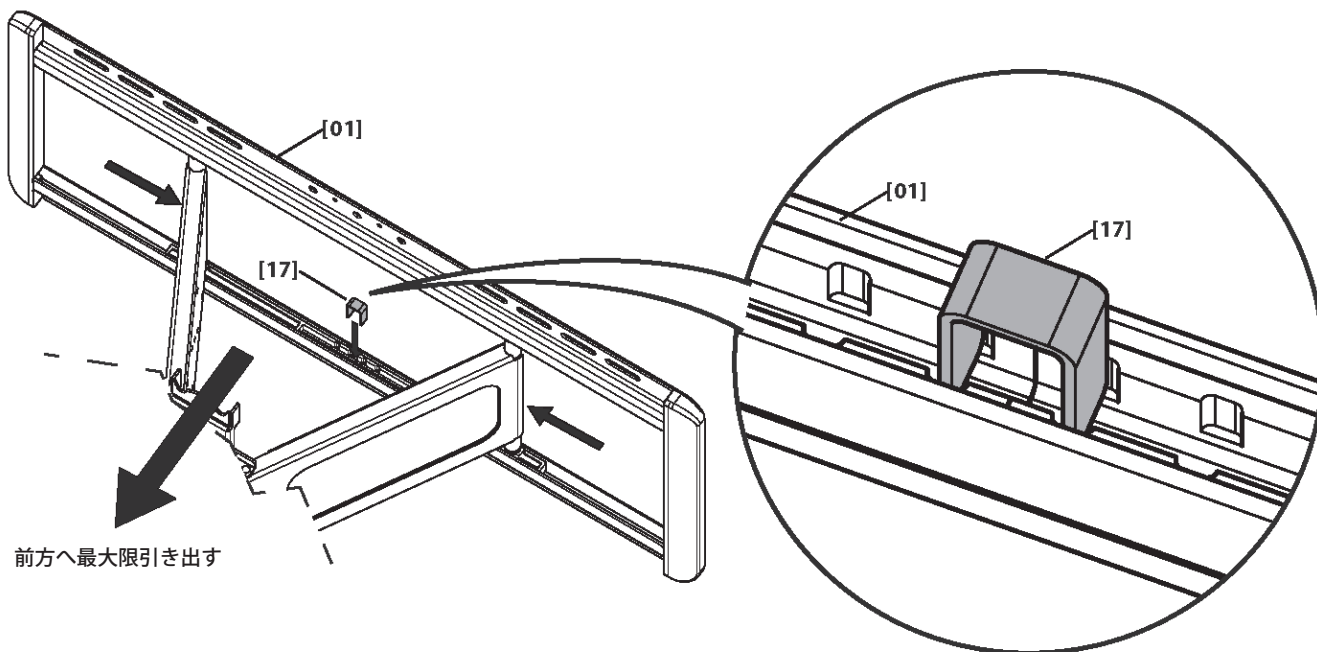
背面が平坦でないテレビ



2 壁掛け金具の取付

2-1 壁掛け金具を取り付ける前の準備

- (1) 壁掛け金具 [01] のアームを左右同時にスライドさせて、スライドロック [17] を下図に示す所定の位置に取り付けます。
- (2) スライドロック取付により、アームが最大限に引き出した状態で固定されるため、壁掛け金具への薄型テレビが、取り付け易くなります。



D 図

2-2 壁面取付金具の木柱壁面への取り付け



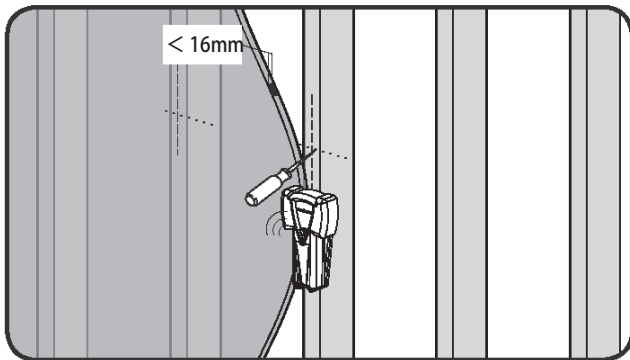
壁面取付金具を取り付ける壁面は、最大 56.5kg の薄型テレビの 5 倍の重量を、保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なるので、工事業者の皆さんが、専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて工事して下さい。なお、この取り付け金具は、鉄柱や鉄骨には取り付けできません。これらの対象外の壁面に取り付けると、テレビが落下して、けが等の損傷の発生する場合があります。取り付け対象外の下記の「木柱壁」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。

注意: ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。

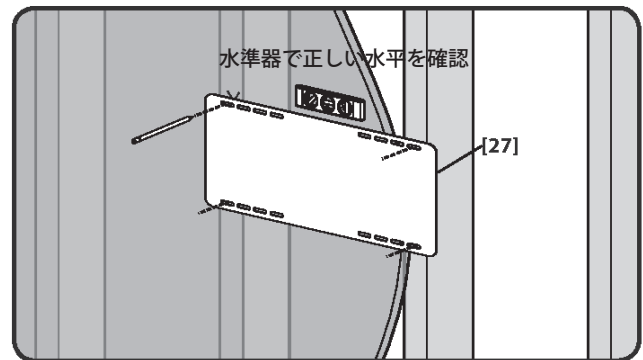
- ★ 壁面の表面を覆う材料が 16 mm を超えないようにします。
- ★ 最小の木柱の寸法: 通常 51 x 102 mm 小型 38 x 89 mm
- ★ 柱の留め具の間の最小の水平間隔: 41 cm

(1) 千枚通しや細い釘などを使うか、または下地センサーを使って、木柱の中央を確認します。

(2) 壁掛金具の型紙 [27] を水平に配置し、4 か所の穴位置に印を付けます。水準器があれば併用して下さい。



高性能な間柱センサーで柱の位置を確認する



型紙を使って下穴を開ける位置に印をつける

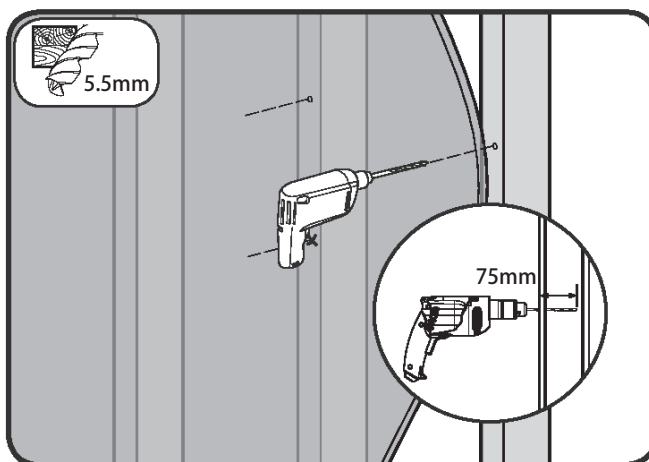
E 図

注意: 不適切なラグボルトの取付は、保持力を弱め、しっかりと支えることができません。

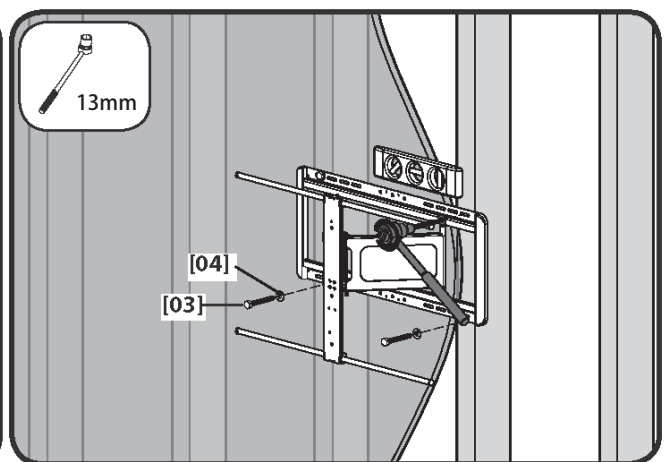
- ★ ラグボルト [03] を締めすぎないようにします。
- ★ ラグボルト [03] の締め付け加減はワッシャー [04] が、壁掛け金具 [01] に引っ張り込まれる感じでしっかりと取り付けられるまで、ラグボルト [03] を締めます。

(3) 下穴は、5.5mm 径のドリルビットを使って、必ず 75 mm の深さの穴を開けます。

(4) 壁面取付金具 [01] は、4 本の 5/16 x 2-3/4 インチのラグボルト [03] と、ラグボルト用ワッシャー [04] で固定します。



下穴を開ける (4 か所)



4 本のラグボルトで固定する

F 図

2-2 壁面取付金具のコンクリート壁面への取り付け



禁止

壁面取付金具を取り付ける壁面は、最大 56.5kg の薄型テレビの 5 倍の重量を、保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なるので、工事業者の皆さんが、専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて工事して下さい。下記の「コンクリート壁」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。

注意: ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。

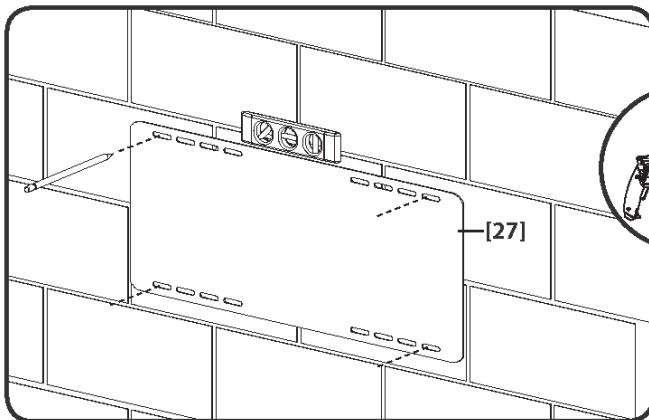
- ★ 壁掛金具 [01] をコンクリート壁面に直接取り付けます。
- ★ コンクリートの最小厚さ: 203mm
- ★ コンクリートブロックの最小サイズ: 203 x 203 x 406 mm
- ★ 取付ラグボルトの最小の水平間隔: 41 cm

注意: ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。

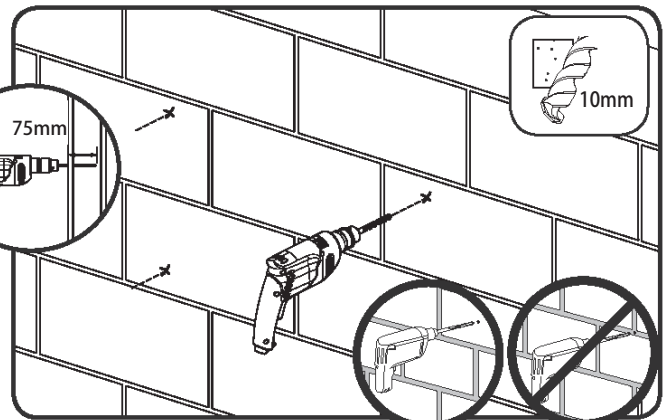
- ★ 下穴は、10 mm 径のドリルビットを使って、必ず 75 mm の深さの穴にします。
- ★ ブロックの間のモルタルには、ドリルで穴を開けないようにしてください。

(1) 壁掛金具の型紙 [27] を水平に配置し、4 カ所の穴位置に印を付けます。水準器があれば併用して下さい。

(2) 下穴は、10 mm 径のドリルビットを使って、必ず 75 mm の深さの穴を 4 カ所開けます。



型紙を使って下穴を開ける位置に印をつける



取付場所 取付禁止場所

G 図

(3) コンクリートアンカー [05] を 4 本挿入します。

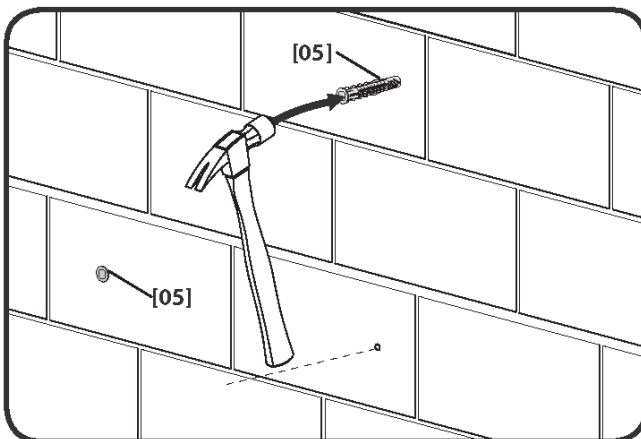
- ★ アンカー [05] がコンクリート壁面にきちんと揃っていることを確認します。

注意: ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。

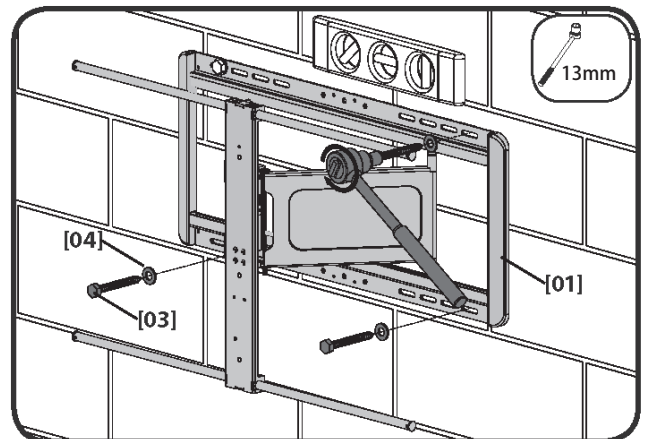
不適切なラグボルトの取付は、テレビをしっかりと支えられません。ケガをしたり、壁面を破損しないようにするには、次の点に注意します。

- ★ ワッシャー [05] が壁掛け金具 [01] に引っ張り込まれる感じでしっかりと取り付けられるまで、ラグボルト [03] を締め付けます。
- ★ ラグボルト [04] を締めすぎないようにします。

(4) 4本の 5/16 x 2-3/4 インチラグボルト [03] にワッシャー [04] を挿入し、壁掛金具 [01] の穴を通してからアンカー [05] に 4ヶ所ねじ込みます。



コンクリートアンカーを打ち込む

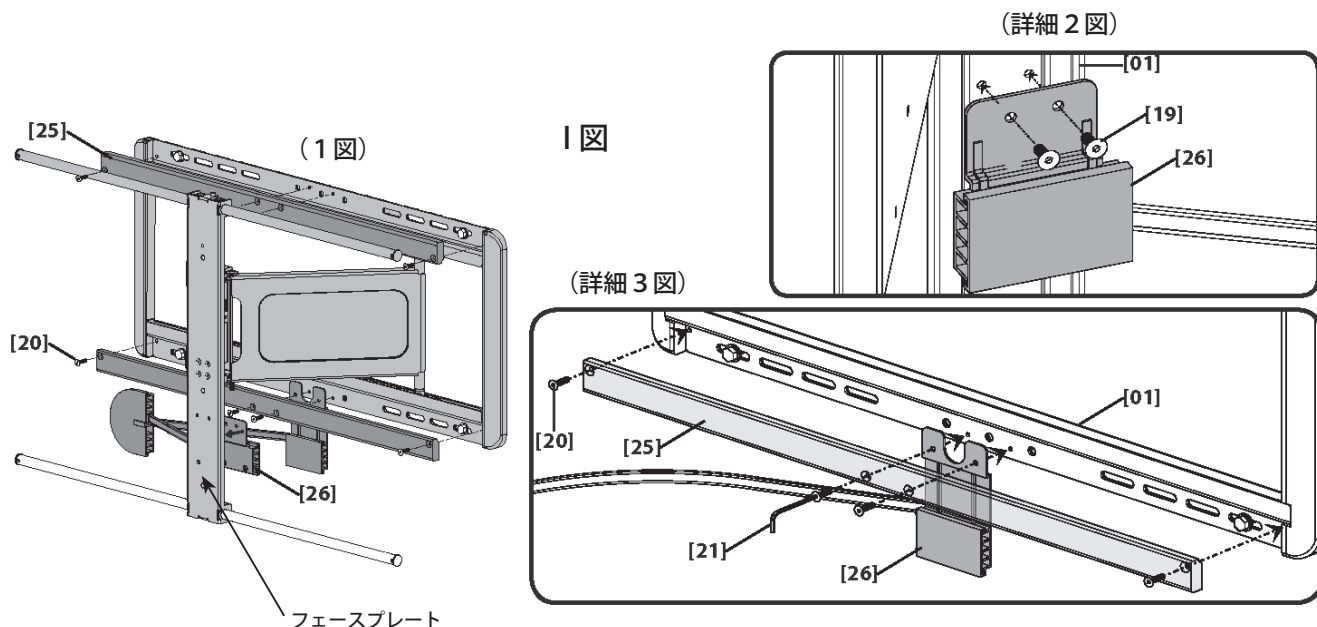


4本の 5/16 x 2-3/4 インチのラグボルトで留める

H 図

3 配線処理部品とカバーを壁掛け金具に取り付ける

- (1) 上部に取り付けるカバー [25] は、1/8 インチの六角レンチ [21] を使って、4本のネジ [20] で壁掛け金具 [01] に取り付けます。(1 図)
- (2) 配線処理部品 [26] の後側のマウント部分を、壁掛け金具 [01] の底部の 2ヶの小さなねじ穴の上に置きます。(詳細 3 図)
1/8 インチの六角レンチ [21] を使って、4本の皿ネジ [20] で詳細 3 図のように、下部カバー [25] を壁掛け金具 [01] に取り付けます。
- (3) 配線処理部品 [26] の前側のマウント部分は、2本の皿ネジ [19] を使って、(詳細 2 図) に示す様に、壁掛け金具 [01] のフェースプレート部 (テレビ取付面の裏側) に取り付けます。(1 図も参照)



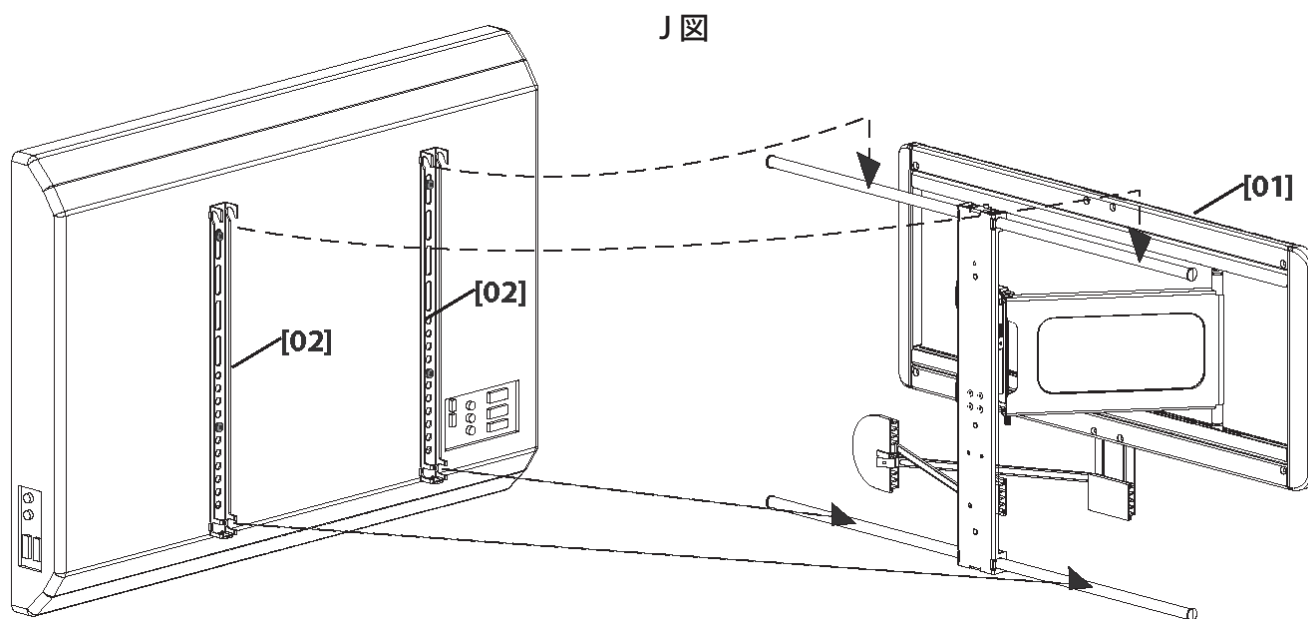
4 テレビを壁掛け金具に取り付ける



禁止

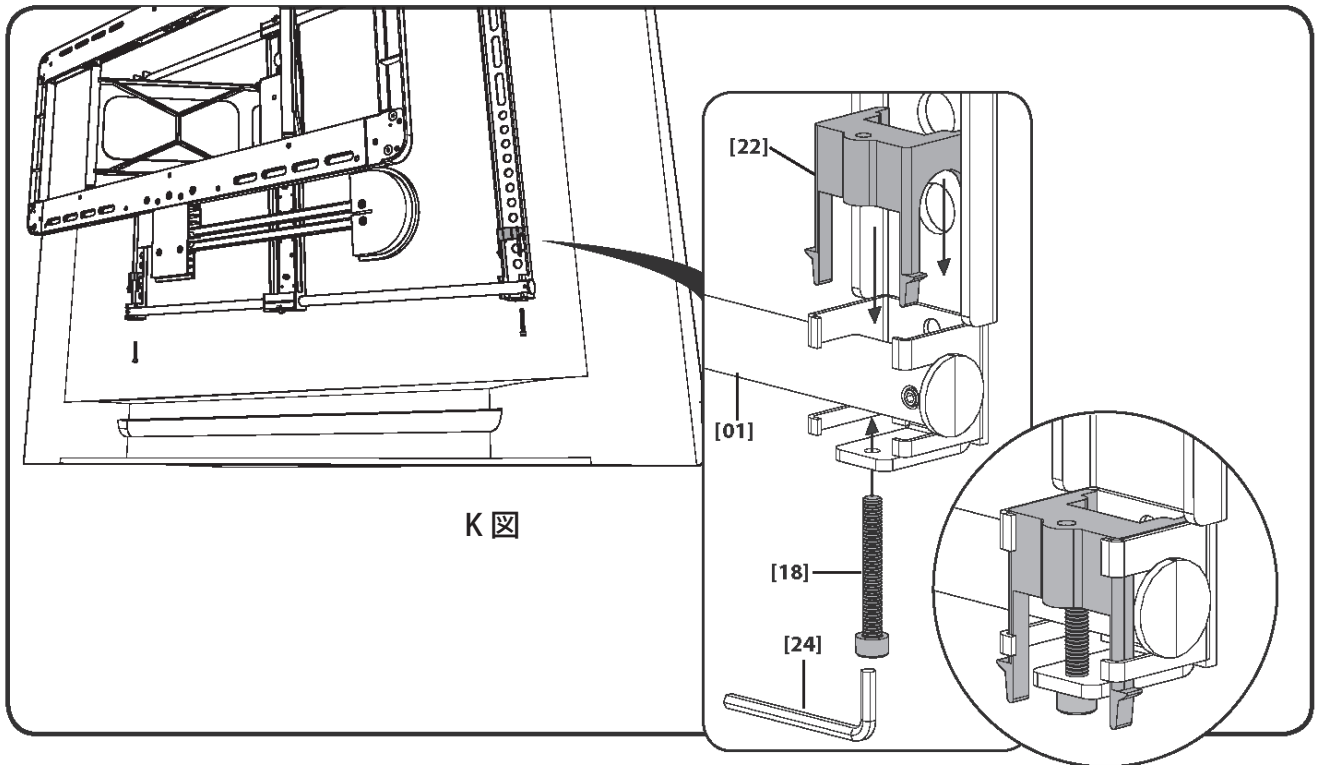
注意 : ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。
重量があります！この手順は、大人二人で取付作業をして下さい。

- (1) 図のようにテレビを、壁掛け金具の水平バー部分の上下に引っ掛けます。



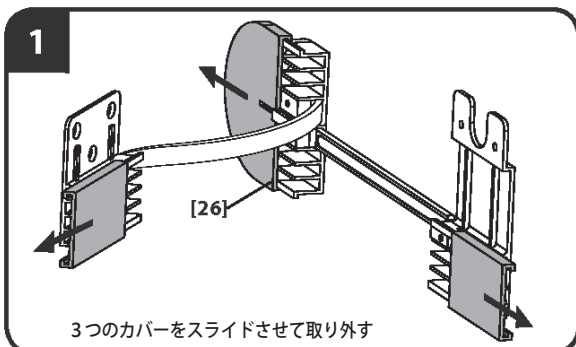
5 クリックキャップを取り付ける

- (1) テレビの脱落防止の為に、図のように左右のブラケット底部にクリックキャップ [22] を2ヶ挿入します。
- (2) 次に、下側から2本の M4 x 25mm ネジ [18] を3mm 六角レンチ [24] でしっかりと締め付けます。

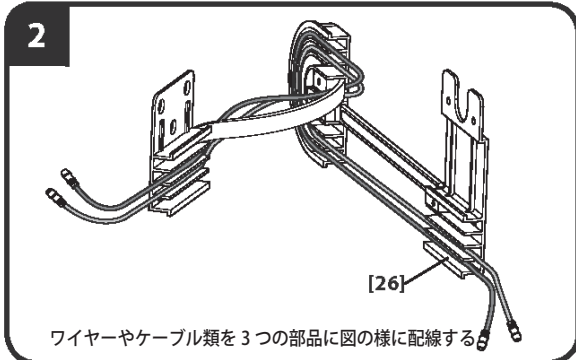


6 ケーブル類の処理

(1 図)



2

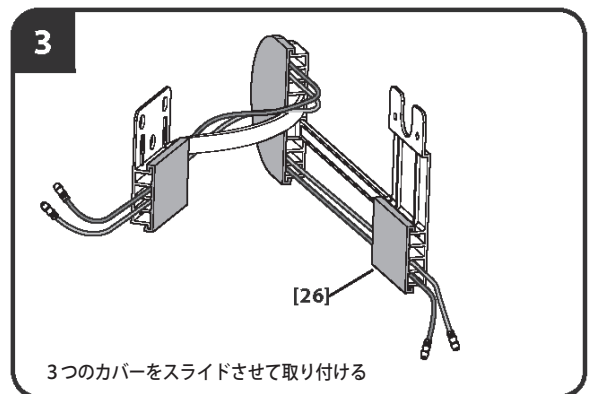


(2 図)

薄型テレビに必要なワイヤーやケーブル類を接続します。

1. 1 図のように、配線処理部品 [26] の3つのカバーを、正面 (フェースプレート裏面に取付)、背面 (壁掛け金具に取付)、中央 (フローティング) に、各々の部品から矢印方向にスライドさせて取り外します。
2. 2 図の様に、これら3つの部品にワイヤーやケーブルを配線します。
3. 3 図のように3つのカバーをスライドさせて元に戻します。

(3 図)

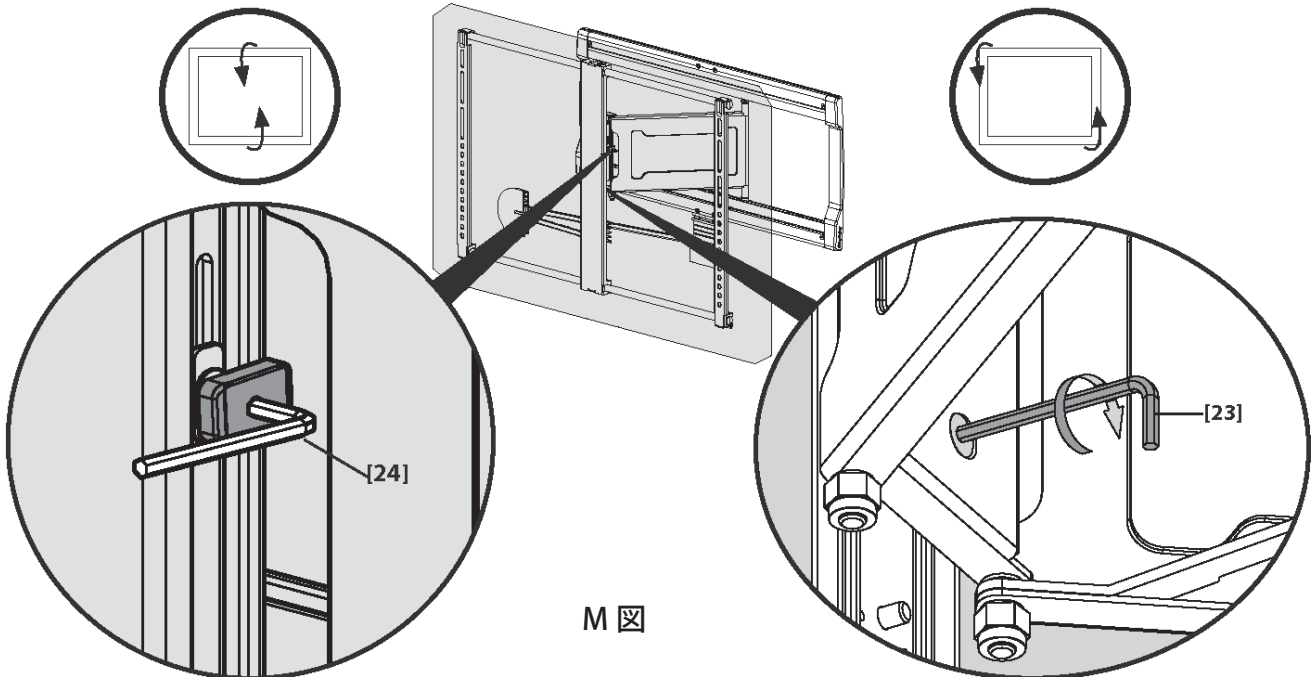


L 図

7 上下視野角及び水平度調整と、スライドロックの保存

調整方法

1. 1図の様に好みのテンションで、上下方向の視野角 (TILT) が可変出来るように、手又は M3 六角レンチ [24] で調節をします。
2. 次に2図に示す位置にあるネジを、六角レンチ [23] で廻して水平度を調整します。



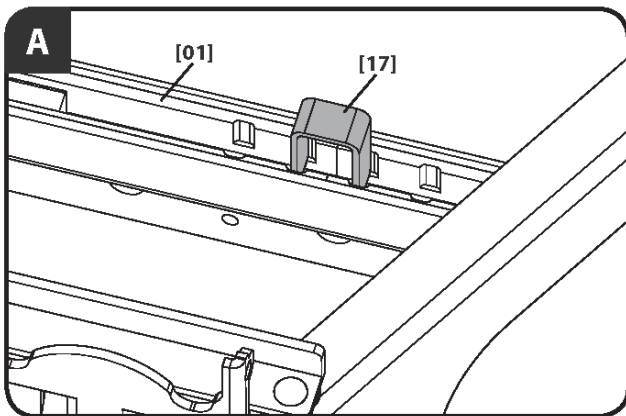
(1図) 上下視野角の調整

(2図) 左右水平度の調整

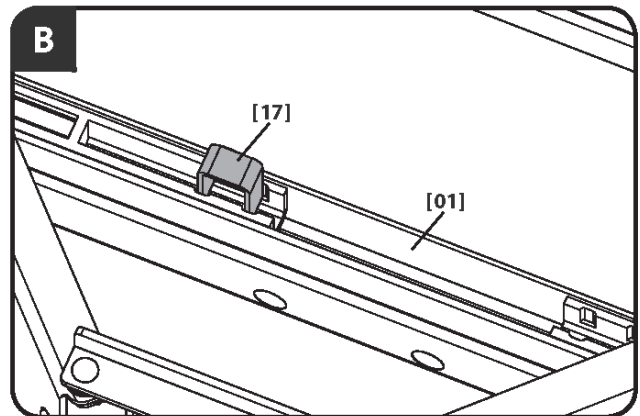
M 図

スライドロックの保存処理

2. 調整が完了したら、スライドロック [17] を A 図に示すロック位置から取り外し、B 図示すスライドの1つの溝の位置に取り付けて保管します。



A 図



N 図

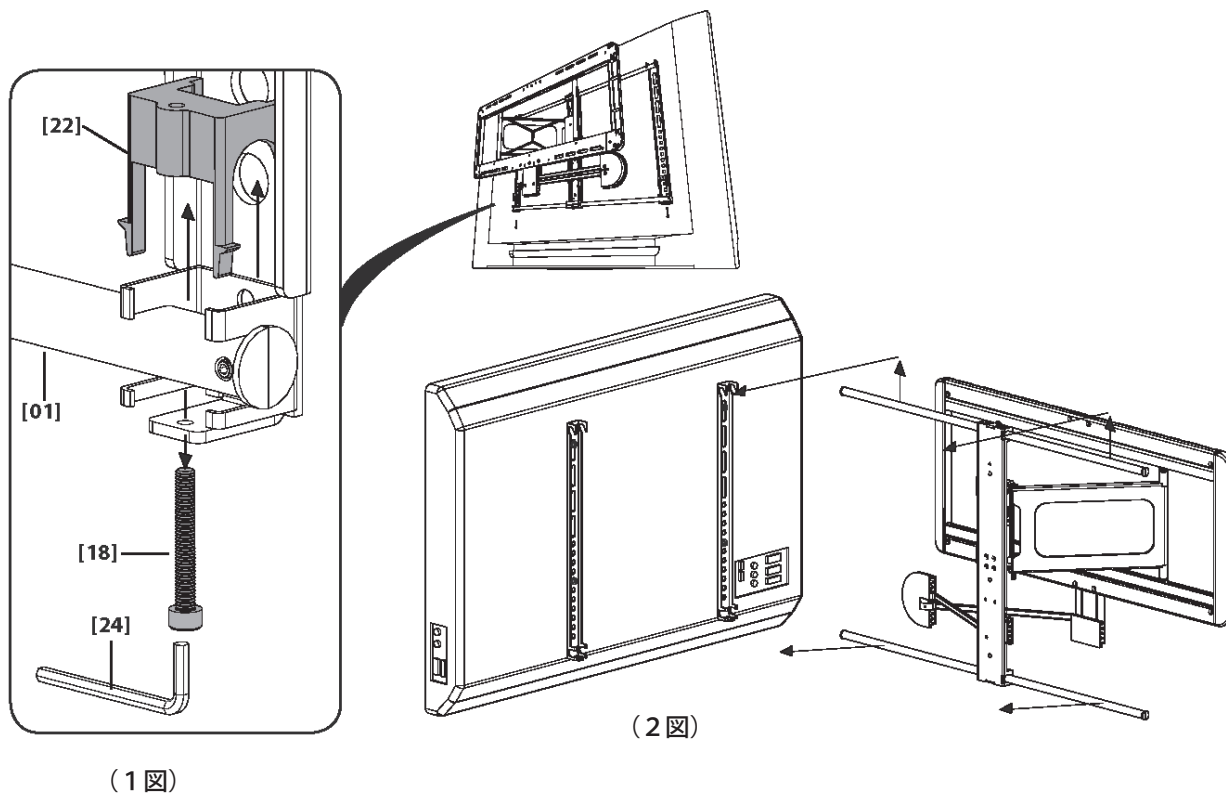
B 図

8 テレビを壁掛け金具から取り外す ----- オプション



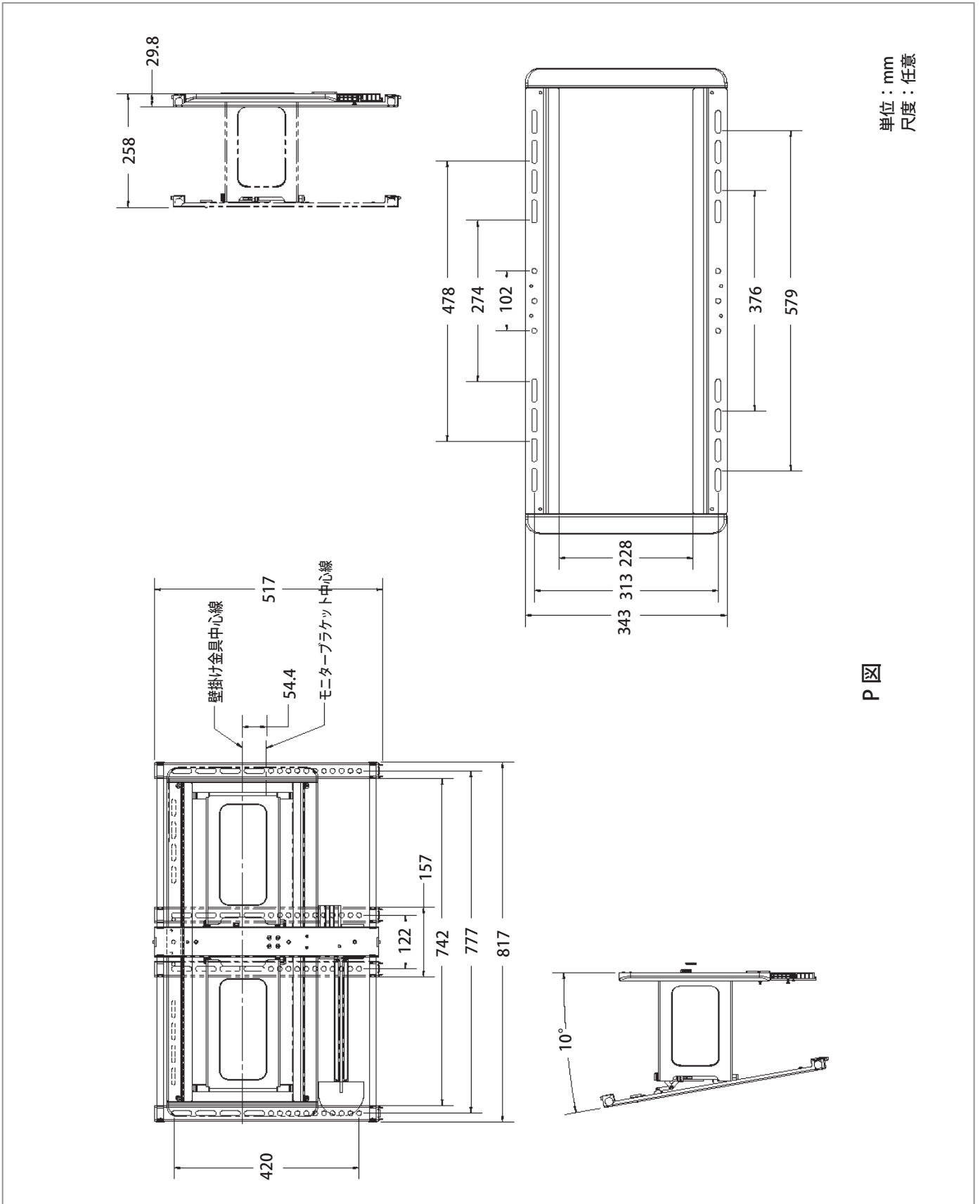
注意：ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。
重量があります！この手順は、大人二人で取付作業をして下さい。

1. 左右のブラケットの底部から、六角レンチ [24] でネジ [18] を2本取り外します。(1 図)
2. 2ヶのクリックキャップ [22] を上方向に引き抜きます。(1 図)
3. 2 図のように、テレビを上方向に持ち上げて、壁掛け金具から取り外します。



0 図

4. VLF311 外観図



Sanus Systems 輸入総代理店・発売元

NETWORK JAPAN

お問い合わせ・ご購入は、弊社正規販売店又は弊社営業窓口へ

〒559-0031 大阪市住之江区南港東1丁目2-16

ネットワークジャパン株式会社 TEL:06-6612-2008 FAX:06-6612-2050

<http://www.network-jpn.com/> E-mail: info@network-jpn.com